

5月のできごと

田丸 あけみ

5月27日（土）に、ぴかぴかアトムっ子まつりを行いました。

当日は、暑すぎず、時折吹く風が涼しく感じられました。

この行事は、新入园児の紹介とみんなで楽しい一時を過ごす事を目的に毎年行っています。まず始めにホールに集まり、新しくアトムに入園した子ども達の紹介をし、職員もチームに分かれて自己紹介をしました。その後、遊びのコーナーを設けた保育室に移動し、おもいおもいに遊び、元気な子ども達の声が保育園に響いていました。子どもの中には、「今日、アトムにくるの、楽しみにしてたねん」と満面の笑みで話しかけにきてくれた子もいました。当日は、朝早くからの準備、そして片付けまで、手伝って頂いた保護者の方もたくさんいました。本当にありがとうございました。

毎年、ぴかぴかアトムっ子まつりの内容は、職員が考えていますが、「こんな内容はどうだろ？」というアイデアがあれば、ぜひ職員までお知らせ下さい。来年度の参考にさせていただきますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

子ども達が自由に色々な遊びに夢中になっている姿を見ながら、私は、テレビ番組でのひとコマを思い出しました。それは、パラリンピックの水泳選手、津川拓也さんが、小学生に向けて発言していたメッセージでした。その言葉は、「できないことをがんばるのはしんどい。でも、できることをがんばるのは楽しいし、自信になる。そうすると、できないことも頑張る気力が出てくる。できることからがんばろう。できることをがんばろう。」というメッセージでした。

人はつい、出来ることよりも、出来ないことに目がいき、出来ない事を少しでも克服しよう、させようと考えがちになる事が多いのではないのでしょうか？

出来ることや得意なことをまずは、とことんすること、させてあげることが次へのエネルギーに繋がっていく。マイナスの部分にはばかり目を向けるのではなく、プラスの部分に目を向ける。そうする事で、自分の力を信じる事に繋がっていき、出来ない事にもチャレンジする力が湧いてくる。という事を津川選手は伝えていました。私は、その言葉に大きくうなずきました。自分を信じる力。自分のプラスの面を知ること。大切ですね。

大人の私たちにできることは、子どもの力を信じ、見守ること。これに尽きるのかなと思います。しかし、これが時には難しくもあり、私も親の一人として考えさせられる津川選手言葉でした。

5月17日は、お弁当の日でした。

お忙しい中、お弁当作りありがとうございました。いつもアトムの給食を食べている子ども達ですが、いつもと違う手作り弁当に大喜びでした。お弁当の日は、年に一度、業者の方に来て頂き給食室の大掃除の日としています。給食室も眩しいくらい、とても綺麗になりました。ご協力ありがとうございました。